

## 交通事故は他人事ではない！ ～セーフティードライバー講習報告～

令和5年9月13日、下間久里の東埼玉自動車教習所にてセーフティードライバー講習が実施されました。この講習は、普段から車を使用している会員を対象に定期的で開催しているもので、今年は26人の会員が参加いたしました。

開講式後の講話では、越谷警察署交通課小林係長から、越谷市内で発生した事故の傾向として自転車の事故と交差点の事故が多く、昨年度に比べて増加傾向にあるとの説明がありました。

また、全国的に見ると65歳以上の高齢者の方の事故は圧倒的に多く、自動車に乗る場合にも、道路を横断する場合にも高齢者自身の注意が必要だとのお話でした。

ドライブレコーダーに映った実際の人身事故の映像もあり、事故の悲惨さを改めて認識いたしました。



その後2グループに分かれ、認知機能検査と技能講習を実施いたしました。

認知機能検査では、教習所の山浦様の指導のもと、実際の検査用紙を使用して模擬試験を実施しました。試験後の休憩時間には、イラストを思い出す検査で「あれが思い出せなかった。これが出なかった」という話で皆さん盛り上がっていました。山浦様からは、「75歳以上になると必ず受けなくてはならない検査となりますので本講習のような機会を利用して、前もって準備することを強くお勧めする」とのお話がありました。



技能講習では、75歳以上で一定の違反があった方に実施される臨時高齢者講習の模擬試験を実施しました。減点方式で実施される検査を本番さながらに一人ひとりが実施しました。

普段は軽自動車しか乗らない人もおり、教習車に乗ること自体が不安だという方もいましたが、教習所教官の皆様が優しく指導してくださり、全員が無事コースを走り終えることができました。

ただ、一時停止を忘れたなど指摘を受けた方もおり、普段の運転から気をつけるよう再認識していただきました。



最後の総評では、本日の模擬試験では問題がなくともこれで大丈夫だとは思わず、「交通事故は他人事ではない」この考えを常に持って欲しいとのお話がありました。今まで大丈夫だったから、自分だけは大丈夫だ、などの考えは捨てましょうとのことでした。

今回の講習も参加会員全員が安全運転の意識を再確認した大変有意義な講習となりました。最後には教習所から嬉しいお土産があり、皆さん笑顔で帰宅されました。

来年度以降も開催いたします。参加いただいた方にも大変好評な講習ですので、多くの皆様の受講をお待ちしております。

